

## 株主メモ

事業年度  
定時株主総会  
配当金受領株主確定日  
基準日

毎年2月1日から翌年1月31日まで

4月下旬

期末配当金 1月31日

定時株主総会 1月31日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定める。

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 0120-232-711 (通話料無料)

ジャスダック証券取引所

<http://www.kokusaihoei.co.jp/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。

上場証券取引所  
公告掲載URL

### 【お知らせ】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。また、お手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
電話 0120-244-479 (通話料無料)  
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「期末配当金領収証」により配当金をお受取になれる株主様宛にも「期末配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

〒157-0073

東京都世田谷区砧 五丁目7番1号

国際放映株式会社

電話 (03) 3749-7213

環境にやさしく……本紙は再生紙を使用しております。



この事業報告は、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。

# 第71期

## 事業報告

平成20年2月1日

▼  
平成21年1月31日

証券コード：9604



国際放映は7つのテレビスタジオが集まった「東京メディアシティ」を擁する制作会社です。時代とともに移り変わる社会のさまざまなニーズに的確に対応しながら映像ビジネスを通じて豊かな社会の実現と文化の醸成に貢献出来ますよう努力をし続けてまいります。

## Contents

ごあいさつ

2

事業の紹介

3

トピックス

5

コンテンツ事業紹介

6

連結財務諸表

7

単体財務諸表

9

会社概要/株式状況

10

Production and sales of movie and Television Broadcasting program, etc.



密会の宿



弁護士・森江春策の事件



付き人女優・安野すみれ

Rental of studio



当期に発売したDVD

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、代表取締役社長に就任いたしました藤原正道でございます。ここに謹んでごあいさつ申し上げます。

現在、テレビ業界は今まで経験したことのない広告不況の真っ只中にあります。その中において当社の71期は、映像制作部門は売上を伸ばせましたが、スタジオ経営事業においては残念ながら下半期の業界不況の影響をかなり受けることとなりました。

当社は、今後も、良質なドラマ番組や情報番組を確実に受注、制作していくことを最優先課題におき、企画営業力の強化、製作コストのコントロールに一層努めてまいります。また、自主運営する3つのスタジオにつきましても、長期的、安定的な収益基盤となるよう各々の特性を活かした効率のよい稼働を目指します。

テレビ業界にとって大変厳しい時代ではございますが、従業員一同、業績の向上に取組み、さらなる社業発展に尽す所存でございます。

株主の皆様には、引き続き厚いご支持、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長 藤原 正道

## ●当連結会計年度の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、上半期は比較的堅調に推移したものの、下半期には米国のサブプライムローン問題を発端とする世界的な金融危機の拡大に加え、大幅な株価下落、円高等の影響により企業業績が急激に悪化し、景気は急速に後退いたしました。

こうした経済環境の下、当社グループの属する映像制作業界におきましては特に下半期において、かつてなかった広告市況の落ち込み等により、テレビ局からの番組発注は大幅に減少し、かつ制作費の削減傾向により制作コストにも一段と厳しさが増しております。さらに、メディアの新たな展開に対応したコンテンツビジネス競争もまた激しさを増しております。

当社及び当社グループは厳しい事業環境を迎えつつも、本格的デジタル・多メディア時代を勝ち抜くため、営業・制作力の強化と制作コスト及び全体経費の削減に努め、売上高の拡大と収益力の向上に取り組みました。

# 事業の紹介

## 映像事業

テレビ作品は、ドラマ・バラエティ・情報番組等の各ジャンルで、局制作が増加傾向にあり、映像制作会社は厳しい受注競争の中に置かれております。そうした中で、当社グループは前連結会計年度に引き続き、次のとおり受注制作を行いました。

まず、ドラマ番組では、(株)東京放送の月曜ゴールデン「緑川警部 VS 86人の容疑者」、(株)フジテレビジョンの金曜プレステージ「ホストの女房」、(株)テレビ朝日の土曜ワイド劇場「法医学教室の事件ファイルNo.27・No.28」「弁護士・森江春策の事件～裁判員法廷」、(株)テレビ東京の水曜ミステリー9「密会の宿No.7」「付き人女優・安野すみれ 楽屋裏事件ファイル」、Lドラ「Café吉祥寺で」全64話と、東海テレビ放送(株)の連続ドラマ「白と黒」全64話を各々制作いたしました。

また、(株)テレビ朝日の土曜ミッドナイトドラマ「コインロッカー物語」全4話を共同制作し、(株)テレビ東京の水曜ミステリー9「警視庁捜査一課殺人班刑事の証明」と、(株)テレビ朝日の金曜ナイトドラマ「打撃天使リリ」全7話、WOWOWの連続ドラマW「プリズナー」全5話にも制作協力いたしました。

さらに、情報番組では、(株)テレビ東京の土曜スペシャル「冬列島 人情たっぷり あったか味めぐり紀行No.9」「人情たっぷり旬の味 漁師が営む地魚三昧の宿No.5」と日曜ビッグバラエティ「全国！これが噂の大御殿No.22」、同じく(株)テレビ東京の「仰天！スーパー大御殿スペシャル」「海を越えた島人たち～ブラジル移民100年を迎えて～」、横浜ケーブルビジョン(株)の「かながわ らく楽ウォーキング」シリーズ12作品、(株)ジャパンイメージコミュニケーションズの旅チャンネル「チャレンジトラベラーズNo.4」とMONDO21「鉄道車両列伝」シリーズ17作品と、「機関車列伝」シリーズ7作品、日本映画衛星放送(株)の日本映画専門チャンネル「創立60周年 名作で迎える新東宝の軌跡」を各々制作いたしました。

また、横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターの「看護職員募集DVD 2009年度版」と、横浜市立大学附属病院の「輸血実施の手順～確認行為の重要性～」、小田急交通(株)の「運輸部教育ビデオ」、東武鉄道(株)の「株主総会用VP」、(株)東京メディアエンタープライズの「キッズDVD」シリーズ10作品、「動物大好き！ハムスターとかわいい動物」の制作も行いました。

コンテンツ営業は、引き続き、当社のテレビ映画及び劇場用映画を各テレビ局・CATV局・衛星放送各社・ブロードバンド等のメディアに販売するとともに、ビデオソフトやDVDソフトの制作販売や、マーチャンダイジングビジネスを行い、収益に貢献いたしました。

なお、連結子会社(株)東京メディアエンタープライズもBS局やCS局への番組販売の他、独自に取得した映像ソフトで販売実績をあげるなど、代理店としての業務を充実させております。

当連結会計年度における映像事業部門の売上高は、1,875百万円（前期比45.0%増）となりました。



法医学教室の事件ファイル



白と黒



Café吉祥寺で



緑川警部 VS 86人の容疑者



海を越えた島人たち

## スタジオ経営事業

2つのテレビ局との長期賃貸借契約のスタジオ収入につきましては、付帯収入を含めほぼ順調に推移いたしました。前年に減少したテナント収入の分だけ前期には及びませんでした。自主運営の短期レンタルスタジオ事業につきましては、日本テレビ放送網(株)との年間レンタル契約締結などにより安定して推移いたしました。2スタジオを長期賃貸借契約から短期レンタルへと営業形態を変更したことに伴うスタジオ原価の増加分を補うには到りませんでした。

なお、連結子会社(株)ケイエッチケイアートも、当社スタジオの自主運営業務に伴って、営業展開及び美術制作の体制を強化しており、増収増益となりました。

この結果、当連結会計年度におけるスタジオ経営事業部門の売上高は1,619百万円（前期比2.6%増）となりました。

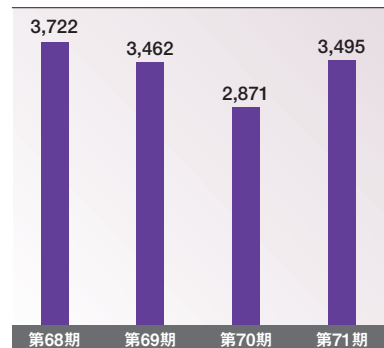
以上により、当連結会計年度における当社グループの営業利益は193百万円（前期比2.1%減）、経常利益は163百万円（前期比3.9%減）となりました。なお、当連結会計年度より役員退職慰労引当金を計上したことに伴う過年度役員退職慰労引当金繰入額及び貸倒引当金繰入額による特別損失の増加がありました。投資有価証券売却益による特別利益の計上により、税金等調整前当期純利益は137百万円となりました。最終損益は、繰延税金資産の取崩による法人税等調整額の増加もあり、当期純利益16百万円（前期比73.5%減）となりました。



## 連結業績の推移

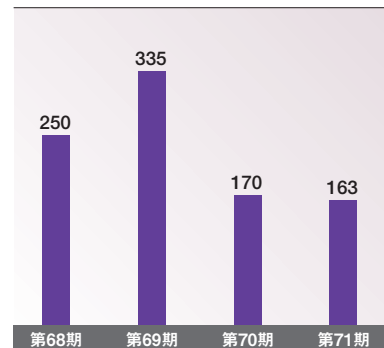
### 売上高

(単位:百万円)



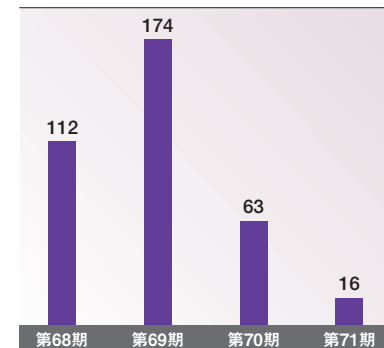
### 経常利益

(単位:百万円)



### 当期純利益

(単位:百万円)



## TMC-1、TMC-A1、TMC-A2 の3スタジオになり

一年がたちました。

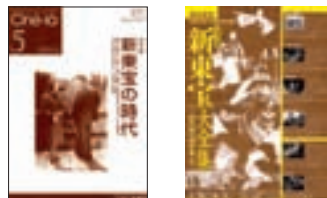
TMC-1、TMC-A1、TMC-A2スタジオは各200坪の広さを有し、人気テレビドラマをはじめ在京、在阪テレビ局の番組制作及び映画・CM・PV制作等に幅広い実績を持ち多様化していく皆様のソフト制作に、これからもより広く応えられるスタジオを目指してまいります。



## 新東宝映画上映イベント 「新東宝大全集 ～60年60日60作品+α」他

近年国内外において新東宝映画を上映する機会が増えてきており、国内においては、昨年5月に福岡市総合図書館との共催で上映イベント「新東宝の時代」を開催し、さらに今年1月から4月まで会社創立60周年を記念した上映イベント「新東宝大全集～60年60日60作品+α」を、シネマート六本木及びシネマート新宿にて開催しました。特に2月14日のシネマート六本木は、映画デビューが新東宝という香川京子さんをゲストとしてお招きし、トークショーも大いに盛り上がりしました。そして2ヶ月以上に亘る興行も、映画好きの若者から往年を懐かしむご年配の方々まで、幅広く好評を得たなかで終えることができました。

海外においては、主なものとして、ベルギーのOPEN DOEK映画祭で「地獄」を、スイスのヌーシャテル国際ファンタスティック映画祭で「毒婦高橋お伝」他計5作品を、フィンランドのナショナル・オーディオビジュアル・アーカイブで「地獄」を、スイス・チューリッヒ及びドイツ・ベルリンのフィルムポードイウムで「煙突の見える場所」「大阪の宿」を、イタリアのフューチャー・フィルム・フェスティバルで「東海道四谷怪談」他計6本をそれぞれ上映しました。



シネラ (福岡市総合図書館内の映像ホール)



60周年上映を行ったシネマート六本木



舞台挨拶をされた女優の香川京子さん



会社創立60周年にあたり編纂した記念誌「新東宝の軌跡」

## コンテンツ事業紹介



煙突の見える場所

1948年に誕生した株式会社新東宝は「煙突の見える場所」などの文芸作品や時代劇、さらには怪談映画の最高傑作と言われる「東海道四谷怪談」まで幅広い分野において傑作、大作を生み出しました。なかでも1957年に公開した戦争映画「明治天皇と日露大戦争」は記録的な大ヒットとなり、わずか13年余の間に世に送り出した映画は900本を超え、映画全盛の時代において大きな役割を果たしてきました。



明治天皇と日露大戦争



仕掛人 藤枝梅安

1964年に商号を国際放映株式会社と変更してからは、これまでの映画製作で培ってきた経験を生かして次々とテレビドラマを製作してきました。そしてテレビ創成期から現在まで放送界を牽引してきた当社は、これまでに製作した豊富なコンテンツの多メディアへの展開により、良質な作品が埋もれることなく、時を越え、形を変えて甦らせることにも積極的に行っています。



俺はあばれはっちゃく

当期は、テレビ作品「水滸伝」、新東宝作品「弥太郎笠」「北上川悲歌」など約40作品をDVDとして発売しました。また、昨今のデジタルハイビジョン放送の普及に合わせ、現在BS・CS放送を中心として、HD素材の製作にも取り組んでおります。

### 当社の主な作品

#### 新東宝作品

「憧れのハワイ航路」「アジャパー天国」「煙突の見える場所」「ひばりの三役 競艶雪之丞変化」「銀座カンカン娘」「恋文」「しいのみ学園」「地獄」「東海道四谷怪談」「ノンちゃん雲に乗る」「ハワイ珍道中」「明治天皇と日露大戦争」 他多数

#### テレビ作品

「あばれはっちゃくシリーズ」「一心太助」「美しい罌」「占い師みすず」「 cometさん」「午前三時のルースター」「西遊記」「サンキュー先生」「仕掛人 藤枝梅安」「私鉄沿線97分署」「女医・優～青空クリニック」「水滸伝」「天皇の世紀」「チャコちゃん・ケンちゃんシリーズ」「伝七捕物帳」「忍者部隊月光」「はるちゃん 3～6」「弁護士 朝日岳之助」「法医学教室の事件ファイル」「密会の宿」「YASHA-夜叉-」 他多数

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期(71期) (平成21年1月31日現在)	前期(70期) (平成20年1月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>781,137</b>	<b>789,904</b>
現金及び預金	402,339	314,734
受取手形及び売掛金	289,006	376,175
たな卸資産	62,762	52,527
繰延税金資産	12,537	4,596
その他	14,617	42,397
貸倒引当金	△125	△526
<b>固定資産</b>	<b>6,352,451</b>	<b>6,521,636</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>6,030,235</b>	<b>6,173,951</b>
建物及び構築物	3,154,197	3,272,155
機械装置及び運搬具	171,863	198,426
土地	2,677,062	2,677,062
その他	27,113	26,308
<b>無形固定資産</b>	<b>61,296</b>	<b>61,626</b>
借地権	59,571	59,571
その他	1,724	2,054
<b>投資その他の資産</b>	<b>260,919</b>	<b>286,058</b>
投資有価証券	5,500	5,900
繰延税金資産	11,094	28,494
その他	256,864	259,015
貸倒引当金	△12,539	△7,352
<b>資産合計</b>	<b>7,133,589</b>	<b>7,311,540</b>

(単位:千円)

科目	当期(71期) (平成21年1月31日現在)	前期(70期) (平成20年1月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>579,607</b>	<b>564,767</b>
買掛金	113,835	137,567
1年内返済予定長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	63,267	3,597
1年内返還予定長期預り保証金	120,000	120,000
賞与引当金	10,262	9,920
その他	152,241	173,682
<b>固定負債</b>	<b>4,166,734</b>	<b>4,342,696</b>
長期借入金	1,510,000	1,630,000
退職給付引当金	123,553	115,008
役員退職慰労引当金	27,012	—
長期預り保証金	2,062,558	2,182,731
繰延税金負債	29,103	—
再評価に係る繰延税金負債	413,044	413,044
その他	1,462	1,912
<b>負債合計</b>	<b>4,746,341</b>	<b>4,907,463</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>1,767,680</b>	<b>1,784,510</b>
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	154,304	154,304
利益剰余金	549,540	556,465
自己株式	△36,164	△26,259
評価・換算差額等	619,566	619,566
土地再評価差額金	619,566	619,566
<b>純資産合計</b>	<b>2,387,247</b>	<b>2,404,076</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>7,133,589</b>	<b>7,311,540</b>

## 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期(71期) (自平成20年2月1日 至平成21年1月31日)	前期(70期) (自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)
売上高	3,495,020	2,871,499
売上原価	2,748,925	2,116,657
<b>売上総利益</b>	<b>746,095</b>	<b>754,841</b>
販売費及び一般管理費	552,639	557,165
<b>営業利益</b>	<b>193,456</b>	<b>197,676</b>
<b>営業外収益</b>	<b>2,010</b>	<b>848</b>
受取利息及び受取配当金	432	434
その他の営業外収益	1,577	414
<b>営業外費用</b>	<b>31,542</b>	<b>28,001</b>
支払利息	31,542	27,682
その他の営業外費用	—	318
<b>経常利益</b>	<b>163,924</b>	<b>170,522</b>
<b>特別利益</b>	<b>9,600</b>	<b>—</b>
投資有価証券売却益	9,600	—
<b>特別損失</b>	<b>35,719</b>	<b>41,673</b>
過年度役員退職慰労引当金繰入額	23,180	—
貸倒引当金繰入額	12,539	—
役員退職慰労金	—	7,200
スタジオ改修工事費用	—	32,953
賃借倉庫解約損	—	1,520
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>137,805</b>	<b>128,849</b>
法人税、住民税及び事業税	82,458	54,672
法人税等調整額	38,562	10,919
<b>当期純利益</b>	<b>16,783</b>	<b>63,257</b>

## 連結株主資本等変動計算書

(自平成20年2月1日 至平成21年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
平成20年1月31日残高	1,100,000	154,304	556,465	△26,259	1,784,510	619,566	619,566	2,404,076
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△23,708		△23,708			△23,708
当期純利益			16,783		16,783			16,783
自己株式の取得				△9,904	△9,904			△9,904
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△6,924	△9,904	△16,829	—	—	△16,829
平成21年1月31日残高	1,100,000	154,304	549,540	△36,164	1,767,680	619,566	619,566	2,387,247

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期(71期) (自平成20年2月1日 至平成21年1月31日)	前期(70期) (自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,946	335,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,989	△76,430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,351	△269,489
現金及び現金同等物の増減額	97,604	△10,850
現金及び現金同等物の期首残高	304,734	315,585
現金及び現金同等物の期末残高	402,339	304,734

# 単体財務諸表

## 貸借対照表の要旨

(単位:千円)

科目	当期(71期) (平成21年1月31日現在)	前期(70期) (平成20年1月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	631,255	632,262
固定資産	6,372,239	6,540,600
有形固定資産	6,027,730	6,170,743
無形固定資産	60,683	60,925
投資その他の資産	283,824	308,931
資産合計	7,003,495	7,172,863
<b>負債の部</b>		
流動負債	517,329	483,218
固定負債	4,167,817	4,354,255
負債合計	4,685,146	4,837,473
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,698,781	1,715,822
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	154,304	154,304
利益剰余金	480,641	487,777
自己株式	△36,164	△26,259
評価・換算差額等	619,566	619,566
純資産合計	2,318,348	2,335,389
負債及び純資産合計	7,003,495	7,172,863

## 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期(71期) (自平成20年2月1日 至平成21年1月31日)	前期(70期) (自平成19年2月1日 至平成20年1月31日)
売上高	3,180,884	2,621,781
売上原価	2,519,003	1,921,475
売上総利益	661,881	700,305
販売費及び一般管理費	497,111	501,605
営業利益	164,770	198,700
営業外収益	3,806	3,160
受取利息及び受取配当金	2,823	2,836
その他の営業外収益	982	323
営業外費用	31,462	27,576
支払利息	31,462	27,576
経常利益	137,114	174,283
特別利益	18,600	—
投資有価証券売却益	9,600	—
子会社損失引当金戻入額	9,000	—
特別損失	23,814	42,704
過年度役員退職慰労引当金繰入額	22,600	—
貸倒引当金繰入額	1,214	—
役員退職慰労金	—	7,200
スタジオ改修工事費用	—	35,504
税引前当期純利益	131,899	131,579
法人税、住民税及び事業税	77,210	47,080
法人税等調整額	38,116	31,506
当期純利益	16,572	52,992

## 株主資本等変動計算書

(自平成20年2月1日 至平成21年1月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金 資本準備金	株主資本 利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産合計
			利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年1月31日残高	1,100,000	154,304	7,139	480,637	487,777	△26,259	1,715,822	619,566	619,566	2,335,389
事業年度中の変動額										
剰余金の配当			2,370	△26,079	△23,708		△23,708		—	△23,708
当期純利益				16,572	16,572		16,572		—	16,572
自己株式の取得					—	△9,904	△9,904		—	△9,904
事業年度中の変動額合計	—	—	2,370	△9,506	△7,135	△9,904	△17,040	—	—	△17,040
平成21年1月31日残高	1,100,000	154,304	9,510	471,130	480,641	△36,164	1,698,781	619,566	619,566	2,318,348

# 会社概要／株式状況 (平成21年1月31日現在)

## 会社概要

商号	国際放映株式会社 (INTERNATIONAL TELEVISION FILMS, INC.)
設立	昭和23年4月26日
資本金	11億円
売上高	31億円(平成20年2月1日～平成21年1月31日)
従業員数	24名

## 役員 (平成21年4月28日現在)

代表取締役社長	藤原 正道
代表取締役常務	柴田 徹 (総務・管財・情報システム担当兼総務部長)
常務取締役	山野井 孝 (営業担当スタジオ事業センター長、株東京メディアエンタープライズ代表取締役社長)
取締役	浦井 孝行 (営業担当補佐映像企画部長、株ケイエッチケイアート代表取締役社長)
取締役	津屋 明彦 (経理・関連会社担当)
取締役	城所賢一郎 (株東京放送ホールディングス取締役、株TBSテレビ取締役副会長)
取締役	中川 敬 (東宝株専務取締役、株東宝映像美術代表取締役社長)
取締役	鈴木 克明 (株フジ・メディア・ホールディングス取締役、株フジテレビジョン取締役)
取締役	下室 二郎 (関西テレビ放送株専務取締役)
常勤監査役	中村 建治
監査役	米井 誠一 (東宝株経理部長)
監査役	太古 伸幸 (東宝株取締役)

## 株式の状況

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	12,000,000株
当期末株主数	7,279名

## 大株主

	持株数(千株)	出資比率(%)
東宝株式会社	4,145	35.18
株式会社東京放送	1,378	11.70
TOHOシネマズ株式会社	815	6.91
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	750	6.36
有限会社ノスケープ	500	4.24
関西テレビ放送株式会社	350	2.97
東宝フーズ株式会社	310	2.63
東宝不動産株式会社	280	2.37
株式会社電通	240	2.03
東宝ビル管理株式会社	150	1.27
計	8,919	75.69

(注) 1. 当社は自己株式216,762株(発行済株式の総数に対して1.80%)を所有しており、出資比率は、自己株式を控除して計算しております。  
2. 平成20年3月1日をもって東宝東日本興行株式会社及び九州東宝株式会社がTOHOシネマズ株式会社に吸収合併されました。この結果、TOHOシネマズ株式会社の持株数は815千株、出資比率は6.91%となっております。  
3. 平成20年10月1日付で、株式会社フジテレビジョンは株式会社フジ・メディア・ホールディングスに商号変更いたしました。  
4. 株式会社東京放送は、平成21年4月1日付で認定放送持株会社へ移行し、株式会社東京放送ホールディングスに商号変更いたしました。これに伴い、当社株式につきましては、放送免許を承継し完全子会社となる株式会社TBSテレビへ分割承継されております。

## 重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
(株)ケイエッチケイアート	(百万円) 10	(%) 100.00	美術制作
(株)東京メディアエンタープライズ	10	100.00	映像ソフトの販売